

<コミュニティ>

地域経営手法の確立に関する研究

(集落運営から「郷」づくりへ) (1998～2011年度)

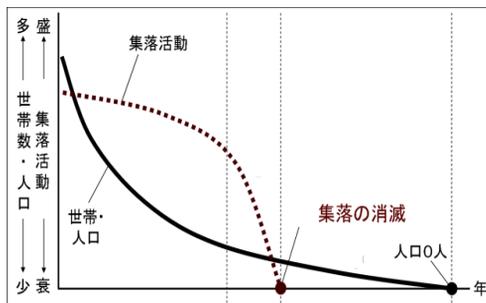
◇概要

過疎高齢化が進行していく中山間地域では、従来の集落単位での地域運営の仕組みから広域的な地域運営組織へのパラダイムシフトが求められています。将来にわたり持続可能な地域運営を行うためには、多様な人材が連携し、地域の実態に合った意思決定の仕組みや世代・性別による意識の違いも考慮した運営方法が有効です。

◇現状と課題

人口減少や高齢化のため、葬儀、道路の草刈り、祭りの継承など活動が困難になってきた集落が増えています。既存の集落を活性化させることでこれらを維持したいという考え方もありますが、実際には、個人や世帯の生活が成り立ってはじめて集落の活動が可能となります。そこで、集落で従来の活動を続けていくためにも、生活機能の補完、新規参入、幅広い活動展開を行う必要があります。

従来のコミュニティ運営の枠組みや手法を転換し、1,000～2,000人規模の小学校区程度を想定した範囲（以下「郷」と述べる）での運営体制・手法の開発が必要となります。

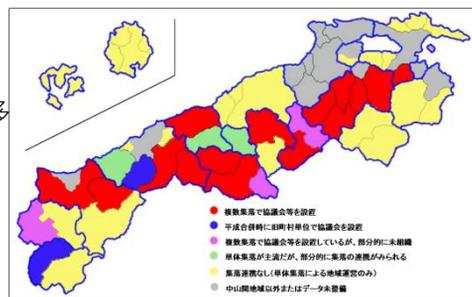


集落の世帯・人口の減少と活動衰退

◇ねらい

小学校区程度の範囲は、一定の生活機能・拠点が揃う「第1次生活圏」となっています。また、子ども、若者、年配の方まで、多様な世代が居住しています。集落の範囲や仕組みを超えて、小学校区程度で基礎的なコミュニティ「郷」を形成することは、生活課題の解決や人材確保などの面で効果が期待できます。

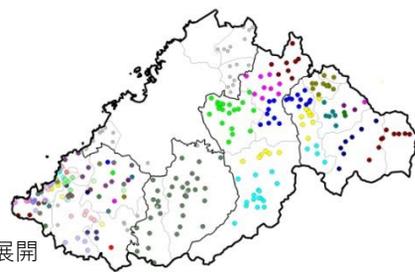
→福祉、生活機能の充実、交通、コミュニティビジネスなど、集落単位では取組が難しい分野については、特に「郷」で対応すること検証します。



島根県の地域運営組織の分布 (平成合併前の単位)

◇手法

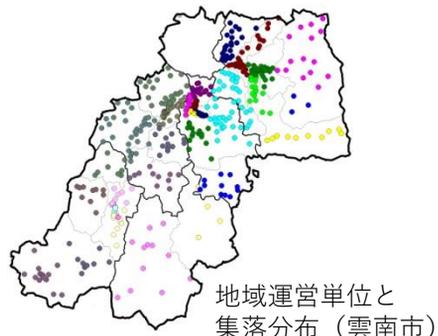
- 1998年～ 継続的な集落データの収集・分析 (島根県中山間地域の全集落) 現地ヒアリング調査 (小規模高齢化集落、「小さな自治」実践地区)
- 2004年～ 「小さな自治」の活動実践とモニタリング
- 2005年～ 「地域自主組織」等の実践事業の展開 (雲南市、飯南町他)
- 2006年～ 小規模高齢化集落への対応 (島根県西部他)
- 2007年～ 小規模高齢化集落での資源活用等の社会実験 (浜田市弥栄自治区)
- 2008年～ 「中山間地域コミュニティ再生重点プロジェクト事業」 (島根県) の展開
- 2010年～ 安全・安心を突破口としたプログラム構築・検証



地域運営単位と集落分布 (浜田市)

◇成果

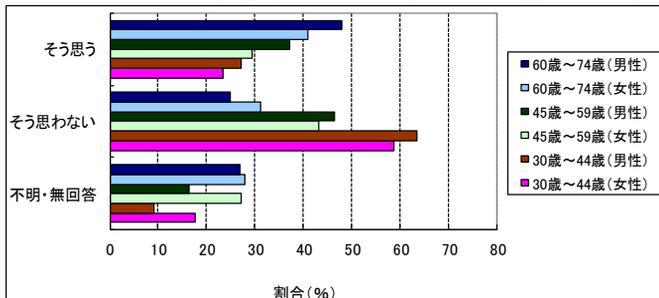
- ①集落の動向分析・・・島根県全域
- ②「地域自主組織」の設立・運営・・・雲南市他
- ③「1人1票制」による地区計画の策定・・・雲南市他
- ④住民提案型事業の実施・・・雲南市、飯南町
- ⑤市町における自治振興施策の推進・・・雲南市他
- ⑥小規模高齢化集落を対象とした社会実験・・・浜田市弥栄自治区
- ⑦新たな地域運営のモデルづくり (範囲、人材、協働)・・・浜田市波佐・小国地区他



地域運営単位と集落分布 (雲南市)

研究成果アルバム

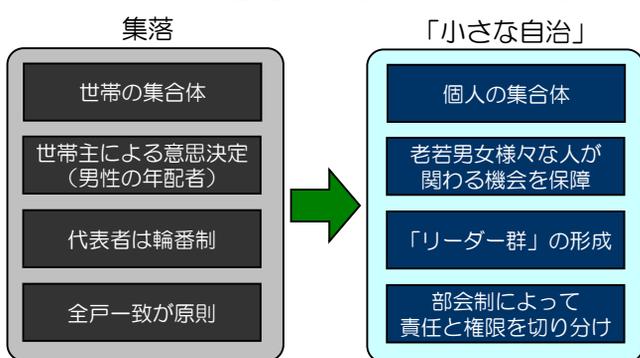
集落に対する意識は、世代間で差がある



島根県縁辺集落住民 (345名) へのアンケート (1999) より

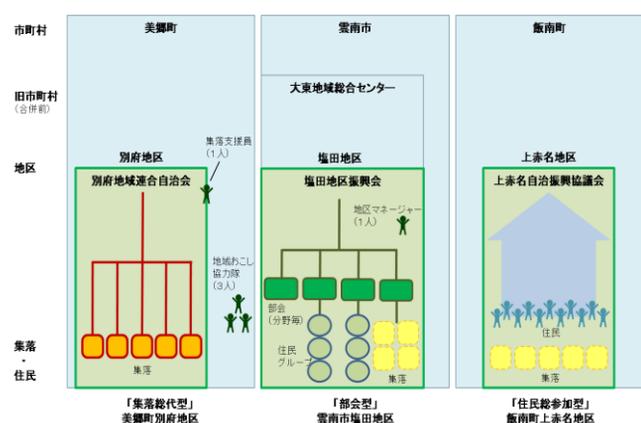
「集落は新しいことに積極的に取り組むと思うか」の問いに、年配者と若者の間に明確な差が見られた。若い世代や女性の発想を活かす「1人1票制」が必要である。

コミュニティの意思決定手法を変える

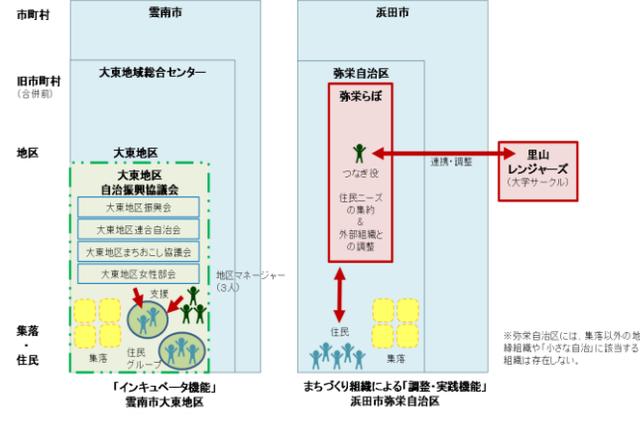


新たな取り組みを展開するには、従来の集落の意思決定手法とは異なる方法を採用することが必要。

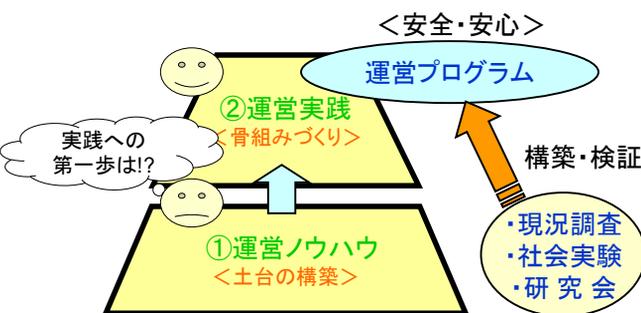
地区に合った意思決定のしくみを考える



住民活動を支援する機能を持つ

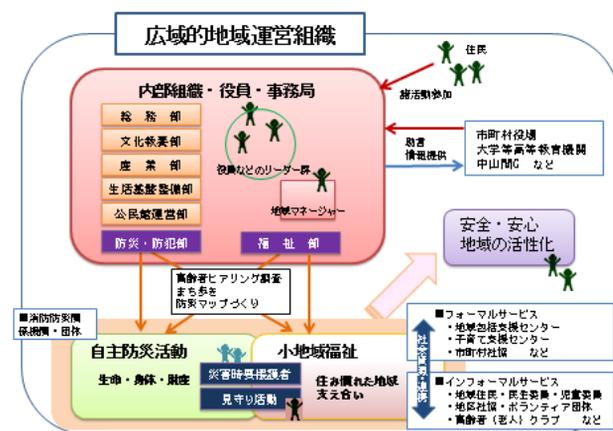


“住民主体”のコミュニティ運営への道筋



従来の運営ノウハウは活かしつつ、より住民の主体性が生きた地域運営につながるための手法として、世代・性別に共通の課題である「安心・安全」分野での活動から開始することが有効です。

防災福祉コミュニティでの支えあい



◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 地域研究スタッフ
 担当 主席研究員 有田 昭一郎、専門研究員 安部 聖
 〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地
 TEL : 0854-76-3836 FAX : 0854-76-3758
 E-mail : abe-satoshi@pref.shimane.lg.jp HP : http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/